

令和3年度 学校教育自己診断結果 分析・考察

1. 保護者からの評価については良好である。
⇒ ただし、「子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている。」は肯定的評価が低く、前年度同様に生徒の回答と齟齬がある。
2. 生徒からの評価についても良好である。
⇒ 「全体的に授業はわかりやすい。」は、77%で昨年同様である。他も大半の項目で良い評価となっている。
「担任の先生以外にも保健室の先生や相談室の先生など、気軽に相談できる先生がいる。」の項目は、「担任の先生以外にも」に変更したため、3%肯定的回答が減り57%になったが、担任以外に相談できる“場”を今後も増やしていかなければならない。
3. 学校行事の満足度も、延期・中止もあったが、高評価を得ている。
⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響による休業等により「フェスティバル」「体育大会」は開催できなかった。次年度は可能な範囲で開催を検討する。
4. 読書活動については、前年度同様に図書室の整備が急務となっている。
5. 教育相談体制についても、さらなる改善が必要である。
⇒ 担任以外の先生に気軽に相談できる体制を検討していく。
6. 生徒の授業に対する姿勢と満足度については、かなり改善されている。
⇒ 授業力向上プロジェクトチームによる授業改善が進んでいることが結果につながりつつある。

まとめ

授業力向上プロジェクトチームが授業改善を進めることが、生徒の学習意欲の向上につながっている。

新型コロナウイルス感染症の影響が続くが、新教育課程に向けて、さらなる改善をしていかなければならない。